

橿原神宮前発(初めてのバス旅)—水泥古墳(南、北)—巨勢寺跡—巨勢山口神社—阿吽寺(歌碑)—吉野歴史資料館—桜木神社—世尊寺(比曾寺跡)— 橿原神宮前着



畝傍山を東に見て

御所市の水泥古墳へ



水泥北古墳はN様屋敷内



縁先でしばし休憩、お庭も拝見



水泥南古墳(六世紀後葉)

縄かけ突起に蓮華紋

水泥北古墳(6世紀中頃)入口

玄室5.6m幅2.9m高さ3.3m
全長13.4m 20m円墳
両袖式の横穴式石室

追葬時の瓦質円筒状の配水管
ご先祖様の槍、鼓など昔の物
奥様の花の絵画手作り和物
なども展示

N様ご夫妻より両古墳のご説明
とご接待を頂きました。

古代豪族
巨勢氏の
氏寺だと
言われます
南北五十
米の間に
東西五十
米の間に
寺域だっ
たようです。



JR和歌山線

巨勢寺跡



↑近鉄吉野線とJR和歌山線↑
水泥古墳、吉野口駅方面



塔心礎 1.3m直径88cm深さ12cm



巨勢寺塔跡大日堂(御所市古瀬)

子院の阿吽寺縁起では巨勢寺は
聖徳太子の創建とも法隆寺式伽藍配置か



巨勢寺跡横の草むらを歩いて
巨勢山口神社、阿吽寺へ。

巨勢山口神社 式内社
千年以上前から祀られる健脚組は20分 頑張る

玉椿山阿吽寺
平安時代に巨勢川が氾濫
阿吽法師僧が人々を救った



巨勢山口神社登り口

神社の由緒、案内板 坂道



巨勢山の
つらつら椿
つらつらに
見つつ偲ばな
巨勢の春野を
坂門人足
巻1-54



犬養先生書

歴史資料館まであと4.5kmの所で土砂崩れの為に通行止め。津風呂湖を回り込む事に。



吉野川上流



吉野歴史資料館(吉野町)



池田館長さんの説明
(バスを停めている辺りは池の跡?)



桜木神社(吉野町)

み吉野の象山の際の木末にはここだもさわく鳥の声かも
山部赤人 巻6-924



喜佐の小川に架かる屋根つきのこぬれ橋



「御神木大杉」樹齢約700~800年 高さ35~40m

宮滝遺跡(吉野町)

縄文時代の早期から弥生、飛鳥、奈良時代の遺構や遺物が多数出土

喜佐の小川が流れ込んでいるあれが夢のわだです

展望所



我が行きは久にはあらじ夢(いめ)のわだ瀬にはならずて淵にもありこそ
大伴旅人 巻3-335



柴橋から見る夢のわだ



西塔跡 比曾寺跡



吉野に向かって吉野川を渡る近鉄電車

やすみししわご大君の聞し食す天の下に国はしも多にあれども山川の清き河内と御心を
吉野、柿本人麻呂 巻1-36



持統天皇が吉野宮に行幸した際に



太子堂

芭蕉の句碑、十三重塔 左甚五郎の彫り物と伝わる門の猿なども

世尊寺(比曾寺跡) (大淀町比曾) 聖徳太子が建立した48か寺の一つと伝わる。多くの謎に包まれ日本書紀日本霊異記今昔物語など多くの記述があるお寺



土砂崩れで大幅に遅くなりましたが灯りを燈してお待ち頂いていました。沙羅の葉っぱを頂きました。